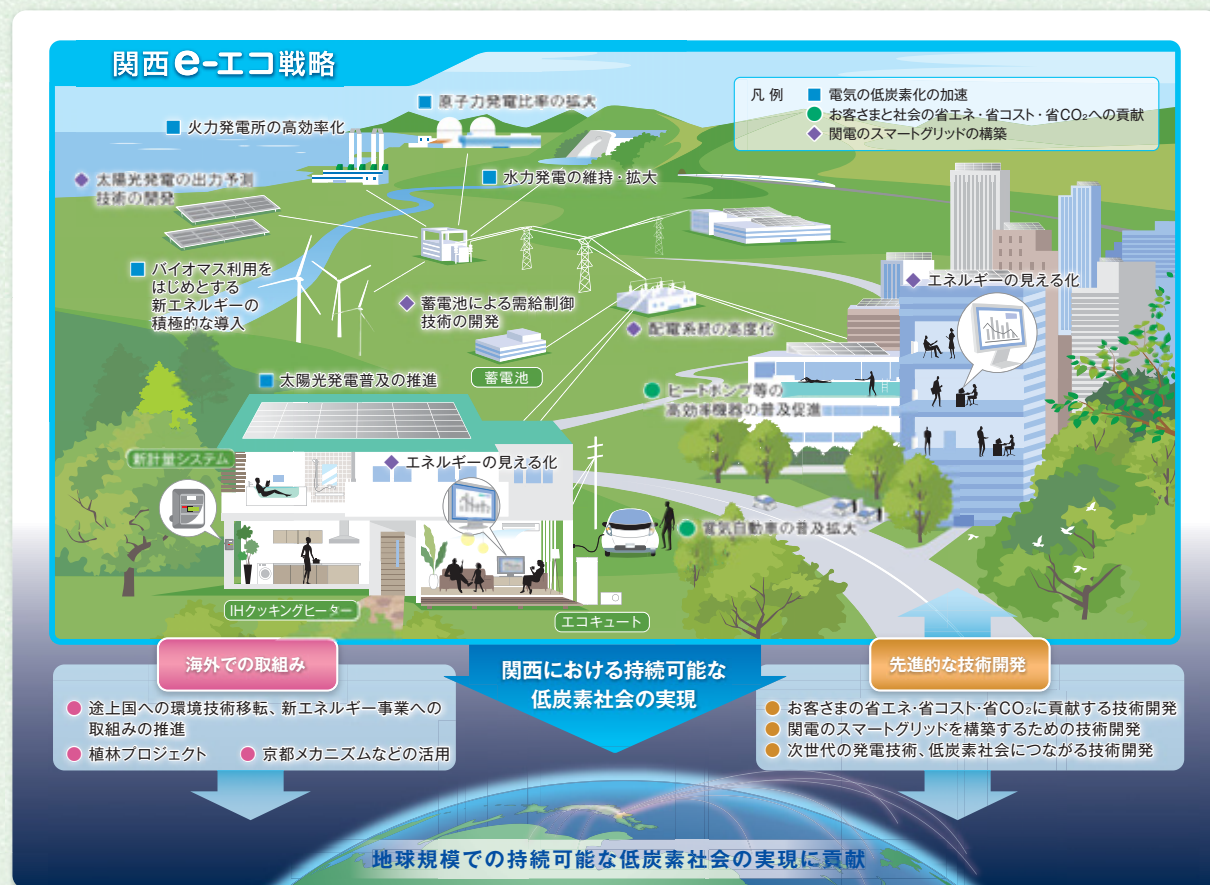


環境と関わりの深いエネルギー事業者として、 低炭素社会実現に向けて取り組んでいます。

「低炭素社会のメインプレーヤー」への挑戦として、
＜関西e-エコ戦略＞に取り組めます。

関西電力は、これまで地球温暖化問題への対応として、電気の需要・供給両面での取組みをすすめてきました。今後は、基盤となる電力系統の安定性を失うことなく、高効率、高品質、高信頼度の電力流通システム構想を加えた「関西e-エコ戦略」を推進することにより、低炭素社会の実現に向け、メインプレーヤーとして一層積極的な取組みを展開していきます。



お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO₂に貢献します。

関西電力では、再生可能エネルギーに認められた「空気熱」を有効活用するヒートポンプ技術を導入した高効率機器やシステムの普及推進活動に積極的に取り組んでいます。たとえば、ご家庭のお客さまには、省エネ性能が高く環境性・経済性にすぐれた電気の給湯機「エコキュート」を採用した安心・快適なオール電化に、オール電化と親和性が高く環境にやさしい太陽光発電や電気自動車などの商品・サービスをプラスする「オール電化+」（プラス）をコンセプトとした提案活動をおこなっています。また、法人のお客さまには、低炭素な電気と、ヒートポンプをはじめとする高効率な電化機器を組み合わせた最適なシステムをご提案し、お客さまの省エネ・省コスト・省CO₂に向けた取組みをお手伝いしています。

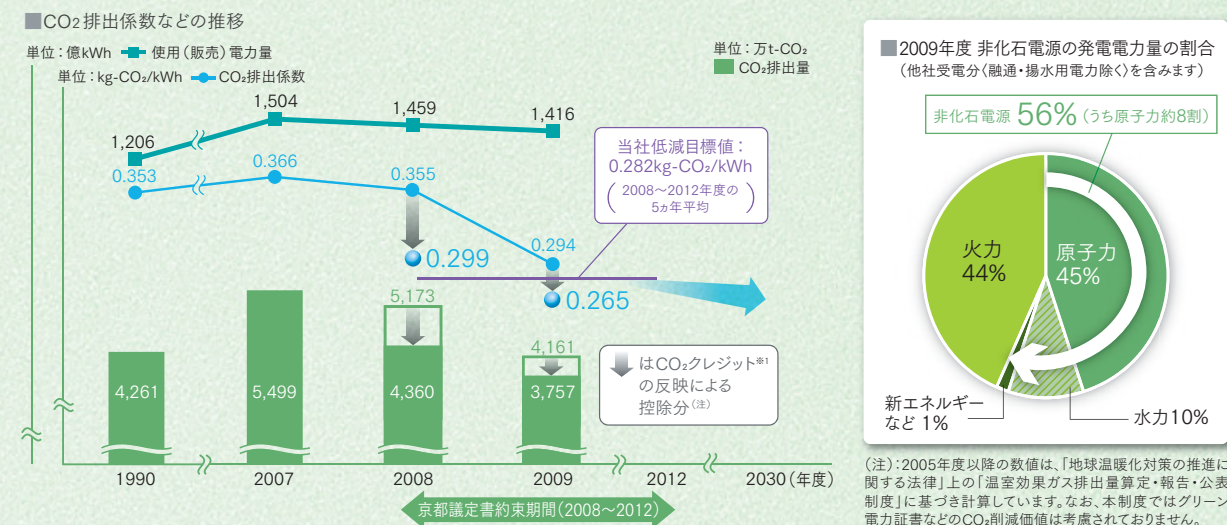


非化石燃料比率を拡大し、「電気の低炭素化」を加速させます。

関西電力は、使用（販売）電力量あたりのCO₂排出量（CO₂排出係数）の低減、いわゆる電気の低炭素化に努めています。安全・安定運転を最優先に発電時にCO₂を出さない原子力発電を推進するとともに、火力発電の熱効率の維持・向上、水力発電の安定運転および機能向上をはかります。さらに、太陽光発電や風力発電といった新エネルギーの積極的な導入に取り組むなど、CO₂排出係数のさらなる低減をめざしています。

「関電のスマートグリッドの構築」をめざします。

「関電のスマートグリッドの構築」とは、基盤となる電力系統の安定性を失うことなく、低炭素社会の実現とお客さまの利便性向上を目的に、情報通信技術、蓄電池技術などの新技術を用いて、高効率、高品質、高信頼度の電力流通システムの実現をめざすものです。今後、出力が不安定な太陽光発電などの新エネルギーが、大量もしくは集中的に電力系統に入ってくると、電力系統の安定性（電圧や周波数など電気の品質）に影響が出ることが懸念されます。こうした影響がお客さまに及ぶことがないように、火力や揚水など需給調整の役割を果たす電源設備や電力流通設備の維持・更新などを含めて、「関電のスマートグリッドの構築」をすすめ、より低炭素な電気を安定的にお届けすることをめざします。



■ 電気使用によるCO₂排出量の計算方法 お客さまの電気の使用によるCO₂排出量は、「電気のCO₂排出係数」に「お客さまの電気使用量」をかけることにより算出できます。

$$\text{CO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)} = \text{電気のCO}_2\text{排出係数 (kg-CO}_2\text{/kWh)} \times \text{お客さまの電気使用量 (kWh)}$$

$$\text{電気のCO}_2\text{排出係数}^{\ast 2} = \frac{\text{発電に伴うCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)} - \text{CO}_2\text{クレジット (kg-CO}_2\text{)}}{\text{[使用（販売）電力量あたりのCO}_2\text{排出量]} = \text{販売電力量 (kWh)}}$$

※1 CO₂クレジット：先進国などにおける温室効果ガスの排出量と相殺できる温室効果ガスの削減・吸収量の権利のこと。
※2 CO₂クレジット反映後の電気のCO₂排出係数。